

学校経営計画

(1) 学校教育目標

校訓 「道義為之根」 「質実剛健」 「自彊不息」 「進取而敢為」

- ア 将来、職業人として生きるために必要な、基礎・基本となる知識や技能を身につけた人材を育てる。
- イ 地域から信頼、期待され、地域の伝統・文化を理解し、継承できる人材を育てる。
- ウ 社会人として必要な、コミュニケーション能力や常識、規範意識を身につけた人材を育てる。
- エ 自然や社会の変化を捉え、他者に共感し、思いやれる感性を持った人材を育てる。

(2) 学校の特徴

- ア 国公立大学現役合格率 70～80%を目標とするなど、進学校として地域の期待を担う学校
- イ 砺波地方の質実で剛直な気風と相通ずる精神を踏まえた豊かな感性、人間性、体力を育む学校
- ウ 人格の陶冶と進路目標の実現を旨とする教育活動を実践し、勉強も特別活動も全力で取り組む学校

(3) 学校の現状と課題

ア 現状

総じて本校生徒は素直で、与えられた課題に対して真面目に取り組むなど、着実に努力を積み重ねる粘り強さがある。一方で、自ら課題を設定し、その解決のために積極的に創意工夫する姿勢や、高い目標を掲げて逞しく挑戦したりする姿勢にやや欠けている。

イ 課題

(ア) 生徒力の向上

- a 学習状況の把握に努め、基礎・基本の定着を目指すとともに、自ら目標を定め、工夫して学力の向上に努めようとする自主性を育む。
- b 面接、教育相談の充実や、個別指導の強化に努めるとともに、進路意識の高揚を図る。
- c 探究活動や様々な研修、学校行事、部活動等をとおして探究心を深め、協働力を育み、自己実現のための支援を行う。
- d 教育クラウドサービスを活用した、学習とコミュニケーションの質の向上を図る。

(イ) 教師力の向上

- a 分掌・学年等の組織を一層活性化し、チームワークの向上を図る。
- b 「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るため、教材の開発やICTを活用した指導法の研究・研修に努める。
- c 高大接続改革を見据え、教科横断的な視点からカリキュラム・マネジメントを工夫し、探究力の向上や受験指導などの実践研究を先進的に行う。
- d 評価方法の改善について研究し、授業その他の指導の一体化を図る。

(ウ) 管理運営力の向上

- a あらゆるネットワークを効果的に活用し、情報収集と情報共有を図る。
- b 危機管理意識をしっかりと持ち、問題の早期発見、適切な対応に努める。

(エ) P T A活動、同窓会活動の充実

- a 学校行事、P T A活動に工夫を加え、行事、活動への保護者のさらなる参加を促す。
- b 同窓会による教職員、生徒への支援の充実を図る。

(オ) 業務改善

教育活動全般にわたり目的や実施手順、分担の見直しを行ったうえで、効果の検証に努める。